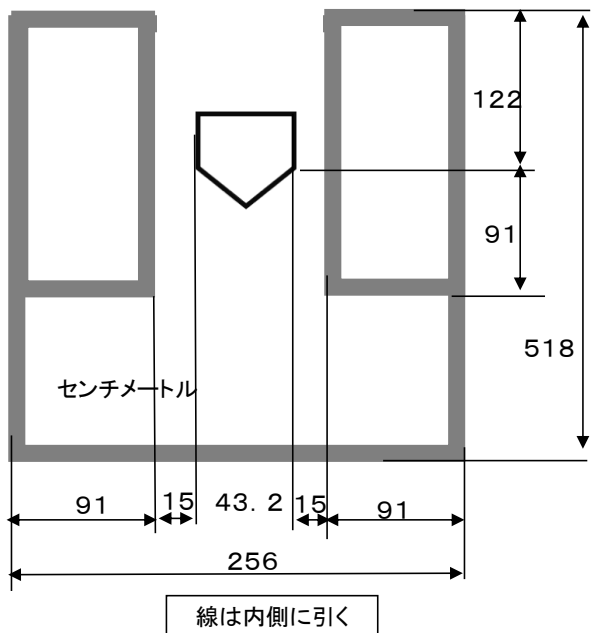
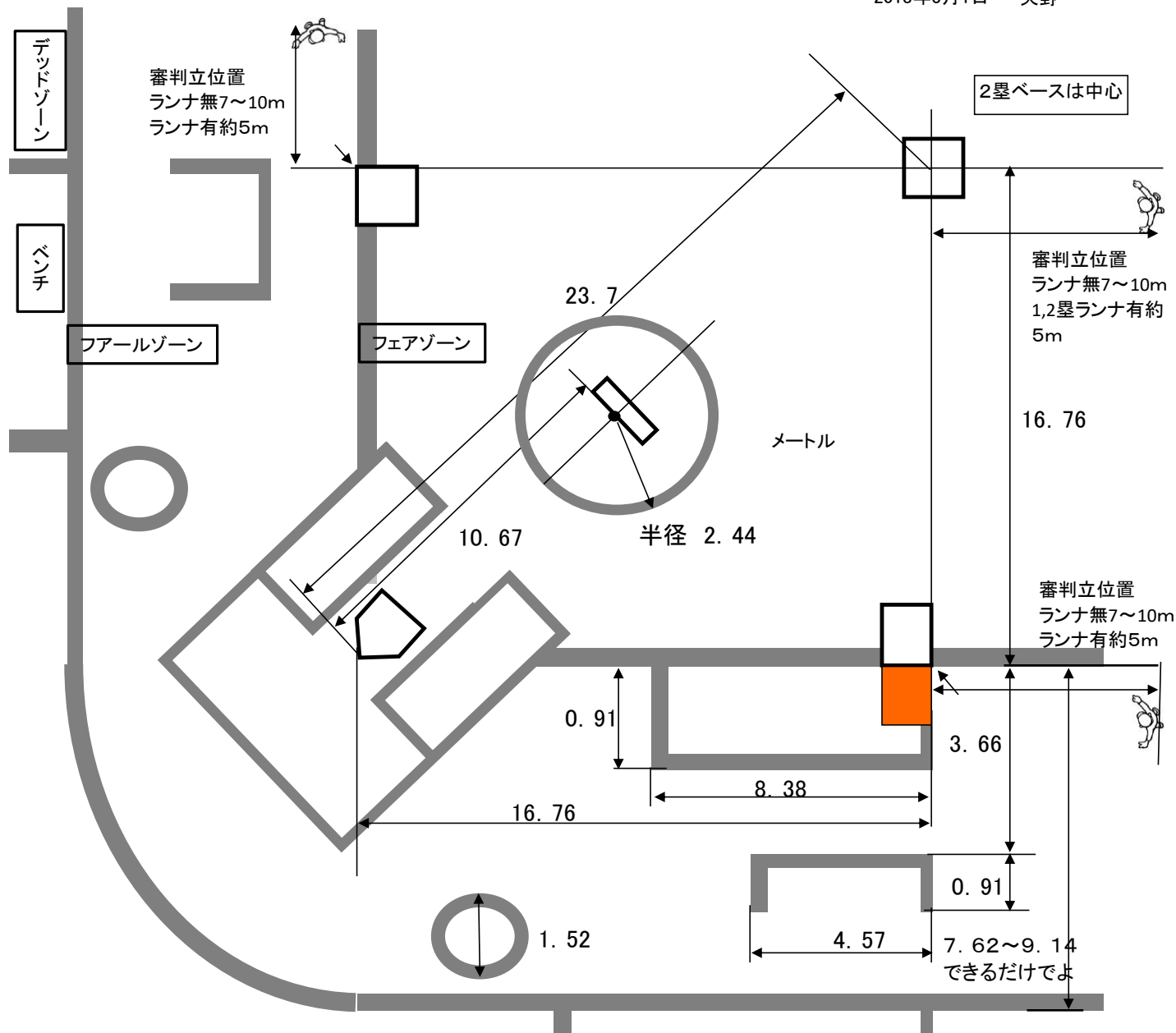


ソフトボール(小学生)内野寸法

作成 加古川ジュニアソフトボール連盟
2018年3月1日 矢野



審判講習会プログラム

1. 主なルールと前年度との変更事項

2. 球審

- ① カウンタの持ち方使い方
- ② カウント表現での指の使い方
- ③ マスクのつけ方と判定時の外し方
- ④ 球審の立ち位置と構え方、タイミング
- ⑤ ストライクとボールの声とジェスチャー
- ⑥ 四球、死球、ボールデッド全員(全班)

3. 塁審と共通

- ① セーフ、アウトのジェスチャー
- ② ファールのジェスチャー
- ③ 各塁審の立ち位置(ランナー無し)
- ④ 各塁審の立ち位置(ランナー有り)
- ⑤ 判定時の動き(見る角度と位置)
- ⑥ 外野飛球の追い方と他の審判の動き

4. 1 球審の実習(ピッチ(60分))

- ① 1個の班は投手と捕手をする。別班が球審の実習
- ② プレイボール、ストライク、ボールの判定実習(7球交代)
- ③ 上記2の内容を実践する
- ④ 班交代して投手捕手と審判を行う → 4.2へ移動

4. 2 模擬プレーでの審判実習(A・Bコート) (60分)

- ① 班内で受講者は1塁、2塁、3塁、ホームの4グループに分かれる
- ② 選手をシートさせてピッチャは投球するが、指導者は別の球をノック
- ③ 1塁審判がジャッジするプレーを塁審人数分連続してノック(一人1回)
- ④ 2塁審判がジャッジができるようにランナを置いてノックまたは盗塁
- ⑤ 3塁審判がジャッジができるようにランナを置いてノック
- ⑥ ホームで球審判がジャッジできるようにランナを置いてノック
- ⑦ 外野飛球を追っかける3外野に3本程度ノック
- ⑧ 一巡すると審判は塁を移動し③~⑦を繰返す
子供選手は審判が一巡するときに攻守交代をする